

国内で麻しん(はしか)が流行しています

今年に入って宮城県内で麻しんの報告はありませんが、国内の累計報告数は362例(2026年4月22日時点)となっております。

この国内の報告数は、直近10年で最も感染者数が多かった2019年の同時期(422例)の9割に迫っており、宮城県内でも注意が必要です。

【過去10年間から現在までの麻しん(はしか)の報告件数】 *2026年4月22日時点(仙台市含む)

年	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026*
全国	186	279	744	10	6	6	28	45	265	362
宮城県	2	0	5	0	0	0	0	0	2	0

<県民の皆さまへ>

麻しんかなと思ったら…

- 麻しんが疑われる症状が現れた場合には、事前に医療機関へ連絡し、医療機関の指示に従って受診をしてください。受診の際には、公共交通機関の利用を可能な限り控えてください。
- 受診し、麻しんが疑われた場合には、保健所による調査・検査等が行われます。保健所から連絡がきた場合には、調査・検査・健康観察等にご協力をお願いします。

<麻しん(はしか)とは>

■症状等

- ・麻しんウイルスによって引き起こされる感染症です。
- ・潜伏期間は10~12日間です。
- ・発熱、咳、鼻水等風邪のような症状から始まり、数日後に高熱と全身の発疹が出現します。
- ・麻しんウイルスの免疫が不十分な場合、比較的軽症の麻しんとなることがあります。
- ・肺炎や脳炎等の重篤な合併症を発症することもあります。

■感染経路

- ・空気感染、飛沫感染、接触感染で感染します。
- ・空気感染するため、同じ空間にいただけで感染することもあります。
- ・感染力が非常に強いため、麻しんウイルスの免疫が不十分な人が感染すると、ほぼ100%発症します。
- ・感染可能期間は発熱、咳、鼻水、目の充血がある場合は症状出現の1日前から解熱後3日目まで、発熱がない場合は発疹出現4日前から出現後4日間です。

■治療・予防方法

- ・麻疹の治療は症状に合わせた対症療法が中心となります。
- ・麻疹の発症・重症化予防には予防接種が有効です。
- ・お子様が麻疹・風しんワクチンの定期接種の対象である 1 歳又は就学前 1 年間にある場合、積極的に早期の接種についてご検討ください。
- ・予防接種を 2 回接種していない方は、予防接種を検討してください。

【参考】厚生労働省 麻疹

https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/measles/index.html



【参考】国立健康危機管理研究機構 感染症情報提供サイト 麻疹発生動向調査

<https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/diseases/measles/graph/index.html>

